

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Athlonデイサービスカケルあしや			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日 ～ 2026年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日 ～ 2026年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動指導	本人の能力に合わせた運動指導。 小学校体育に合わせた運動指導。 運動会時期などに合わせたプログラムの設定。	発達特性や理解力等も加味した指導の実施。
2	イベント行事（ハイキング、駅伝大会、スポーツフェスタ、ダンス発表会、成果発表会等）	発表の場の設定。 保護者参加型イベントの実施。 イベントに向けた取り組み（制作物・運動練習等）。 同法人で運営している放デイ全事業所の参加。	時期の固定による恒例化。 活動記録の更新。
3	3育（知育・徳育・体育）を取り入れた療育。	集団で決められた時間に決められた活動を実施。 作品展への出展。 指先トレーニング。	徳育・知育の充実。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流	イベント参加者の固定化。	魅力的なイベントの企画・運営。 療育参観等、イベント以外で保護者同士が顔を合わせることのできる機会の設定。
2	学校との連携	先生とは保護者を通してのやり取りになることが多い。	引き続き、保護者や学校の許可を得て、運動会などを見学に行く。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Athlonデイサービスカケルあしや

公表日 2026年 2月 16 日

利用児童数 51名（きょうだい含む）

回収数 16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	81,3%	12,5%	6,3%	0,0%	子どもは楽しそうに通っています。	運動器具などを整理し、最大限スペースを確保する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	75,0%	18,8%	0,0%	6,3%		人材採用を継続して行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	93,8%	0,0%	0,0%	6,3%	以前に比べると、ロッカー、下駄箱などが構造化されて、子どもにとってわかり易くなりました。	引き続き、視覚支援の工夫を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	87,5%	0,0%	0,0%	12,5%		引き続き日々の清掃・消毒を行う。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	81,3%	0,0%	0,0%	18,8%	手厚い人員配置で、丁寧な運動指導をさせていただいていると思います。子どもの特性理解やアセスメントについては、どこまでご理解いただいているかはわかりません。	研修等を行い、職員全体の専門性の向上を図る。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	93,8%	0,0%	0,0%	6,3%		引き続き支援プログラムの周知を行う。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100,0%	0,0%	0,0%	0,0%	運動能力についてはよくご理解いただいていると思います。子どもの特性や運動以外のニーズの理解いただいているかはわかりません。	研修等を行い、職員全体の専門性の向上を図る。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	87,5%	6,3%	0,0%	6,3%		課題やニーズに沿った計画や内容の策定に努める。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	87,5%	0,0%	0,0%	12,5%		・利用者のニーズや課題の共有を行い、支援の質向上に努める。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	93,8%	6,3%	0,0%	0,0%		様々なプログラムを計画・実施していく。 プログラムの中身の充実に努める。
	11	放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	50,0%	6,3%	18,8%	25,0%	必要とは思わないので無くてもいい。	併設されている体操教室と合同の運動発表会（年1回）やスポーツイベントの周知を行い、参加を促す。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100,0%	0,0%	0,0%	0,0%		引き続き実施していく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	93,8%	0,0%	0,0%	6,3%		引き続き実施していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	81,3%	0,0%	6,3%	12,5%	イベントが行われています。	計画的に実行していきたい意向である。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100,0%	0,0%	0,0%	0,0%	療育での子どもの様子は丁寧に教えていただいていると思います。子どもの発達の状況については理解いただいているかわかりません。	引き続き、利用時や連絡ツール等を活用し、共通理解の徹底に努めていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100,0%	0,0%	0,0%	0,0%		引き続き実施していく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100,0%	0,0%	0,0%	0,0%		引き続き実施していく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	68,8%	12,5%	0,0%	18,8%	保護者同士の交流の機会は設けていただいていると思いますが、きょうだいへの支援はないと思います。こちらこそまでは事業所に求めています。	引き続き、保護者同士の交流の場を設け、周知し、参加を促す。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	93.8%	0.0%	0.0%	6.3%		迅速かつ適切に対応できるように努めていき、必要な情報を共有していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		適切な方法で意思疎通や情報伝達を行えるよう努めていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	93.8%	0.0%	0.0%	6.3%		引き続き、予定表や空き状況の案内を定期的に掲載していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		引き続き、守秘義務を順守する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%		各種マニュアルの周知を行う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		引き続き実施していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	87.5%	6.3%	0.0%	6.3%		安全確保について周知を行う。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%		引き続き、事故のないよう、支援を行う。事故発生時の対応フローの周知を行う。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		引き続き、安心して通所できるよう施設運営を行う。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	楽しいと言っています。家では中々運動しないので、楽しそうに体を動かしているのを見ると嬉しいです。	引き続き、通所を楽しみにできるように施設運営を行う。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	イベントもあり、様々な経験ができるのが、ありがたいです。コーチが子どもの様子を細かく見てくれていて、支援内容も子どもに合わせてくれるのが有難いです。いつも丁寧に運動指導をいただき大変感謝しております。周りを気にせず、自分のペースで運動できることで、本人も安心できるのだと思います。カケルがなければ、運動嫌いになっていたと思います。	研修等を受講し、職員全体の専門性の向上を図る。利用者や保護者のニーズを傾聴し、必要な支援を行う。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
Athlonデイスサービスカケルあしや		2026 年 2 月 16 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	スペースを最大限確保できるよう、整理整頓に努めている。	制作物の保管場所。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	特性に応じた人員配置を行っている。	男女比なども考慮する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ラインを設置している。 ロッカー・靴箱を設置している。	来所時の動線の視覚化。 掲示物の文字の大きさ。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	日々、消毒・清掃を行っている。 児童の様子も見ながら、物の場所変更を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	60%	40%	観覧スペースを使用している。	保護者見学がある場合、観覧スペースが使用できないこともある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	月1回事業所内で会議を実施している。 日々の療育後にフィードバックを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	自己評価アンケートの結果をもとに業務改善に取り組んでいる。 イベント開催時にアンケートを取っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	月1回の事業所会議や日々のフィードバックの内容をもとに業務改善に取り組んでいる。	1対1で話す機会の設定。 アルバイトスタッフも含めた会議の実施。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	同法人の療育事業部全員が参加する会議やイベント等で事業所間の交流を行い、その評価結果を業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	月1回全事業所合同の研修を実施している。 外部研修を受講している。	勤務内の受講が難しい場合もある。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイスサービス計画を作成しているか。	80%	20%	日々のフィードバックで様子の共有をしている。	学校との連携。
	13	放課後等デイスサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	日々、フィードバックを実施している。 更新のタイミングで会議を実施している。	
	14	放課後等デイスサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	日々、フィードバックを実施している。 更新のタイミングで会議を実施している。 課題や目標の共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	日々のフィードバックを記録している。	
	16	放課後等デイスサービス計画には、放課後等デイスサービスガイドラインの「放課後等デイスサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	面談の内容をもとに計画を作成し、同意の署名をもらっている。	地域連携の機会を増やしたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	活動予定表を毎月作成している。 月1回の事業所会議で提案を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節に沿った活動を心がけている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	グループ・小集団・療育部活動の3つから各自希望クラスに入っている。 クラス変更について案内する場合もある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	始業MTで情報共有や注意事項の確認を実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	日々フィードバックを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々フィードバックを行い、始業MTで共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	60%	40%	決まった活動の中で、選択肢を設けるようにしている。	創作活動を増やす。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者や児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	協力医療機関がある。	周知できていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80%	20%	保護者から行事予定などを共有してもらっている。	学校からの共有は少ない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%	同法人の児童発達支援からの利用者については、会議を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80%	20%	支援会議が開催されている。	支援会議の日程調整が難しい現状がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	60%	40%	児童のモニタリングで相談支援員が来所している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	体操クラブと合同のイベントに参加している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	40%	60%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	80%	20%	送迎時やお迎え時に当日の様子の共有を行っている。	保護者不在の場合に情報共有ができないこともある。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	交流イベントを実施している。	交流イベントを実施しているが頻度は少ない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学・体験・説明会・契約時に実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	80%	20%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80%	20%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	60%	40%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	80%	20%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	システムや連絡ツールを使って、予定表・制作物・空き状況を掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	80%	20%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	保護者や相談支援員の受け入れを行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	避難訓練の実施。 マニュアルの掲載。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	60%	40%	作成中	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	40%	60%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	80%	20%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		